

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの取扱説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。

⚠ 危険	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。
⚠ 注意	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害を受ける可能性が想定される場合、及び物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、**⚠ 注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

■使用上の注意

⚠ 注意

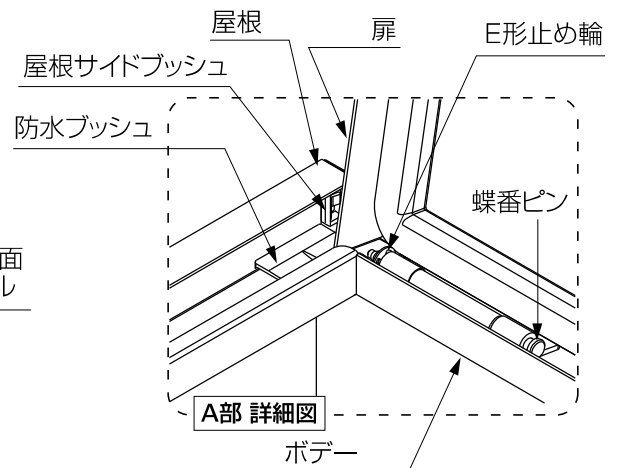
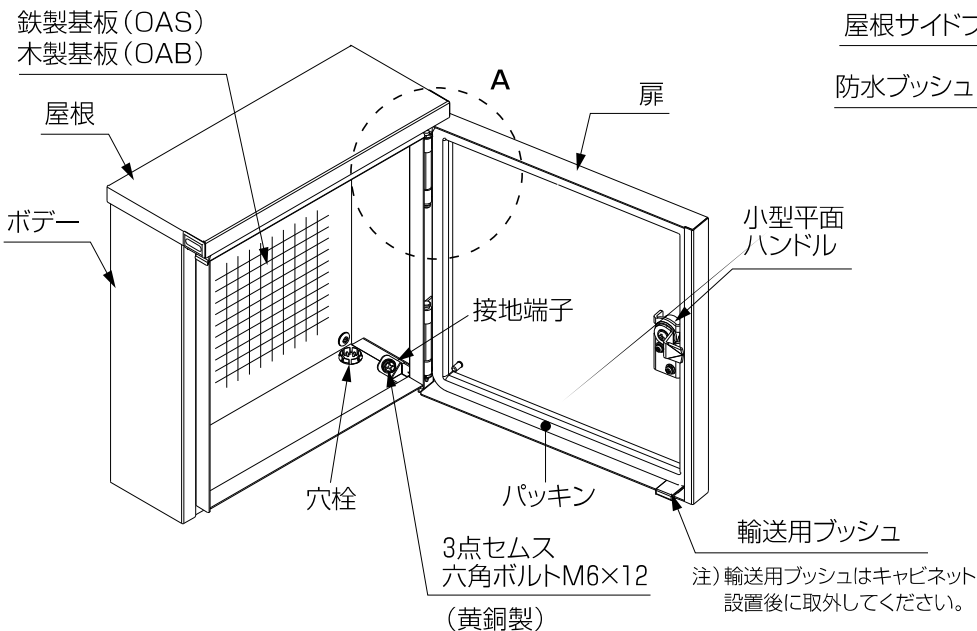
- ・キャビネットの取付けは、十分な強度のある壁面に確実に固定してください。強度が十分でない場合キャビネットが落下し、機器の故障やケガの原因となる可能性があります。
- ・キャビネットを壁面に取付ける場合、蝶番側は少なくとも15mm以上隙間 [図1] を空けてください。それ以下の隙間では扉が開かなくなります。
- ・お客様にて塗装を行う場合、必ず防水ブッシュ・屋根サイドブッシュなどの樹脂部品やパッキンは取外してください。IP性能の低下により機器の故障の原因となります。
- ・穴加工時の切屑がボデーと屋根の隙間に入らないように注意してください。錆の原因となりますので、切屑が隙間に入った場合は取除いてください。
- ・基板を固定するねじは、右表の適正締付トルク値を守り正しく締付けてください。締付けが不十分の場合、感電・落下・破損の原因となります。また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損する恐れがあります。

壁
15mm以上

[図1]

ねじの呼び	適正締付トルク
M6	2.9~4.4N・m (30~45kgf・cm)

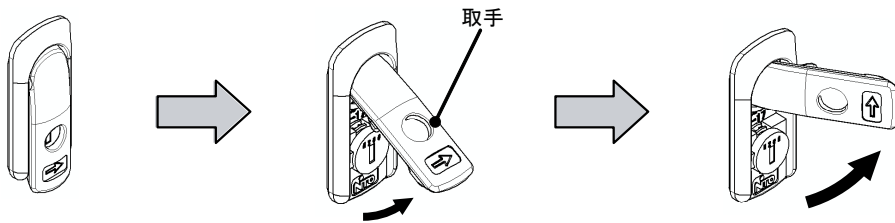
■本体構造・各部名称



■付属品

部品名	姿 図	数量
キ		1

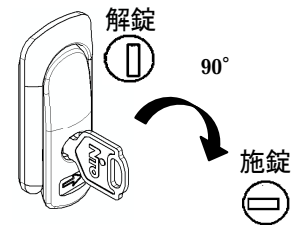
■ハンドルの操作方法



ハンドルの取手部分を上げてください。

取手を握り、矢印の方向へ90°回すと扉が開きます。

●施錠方法



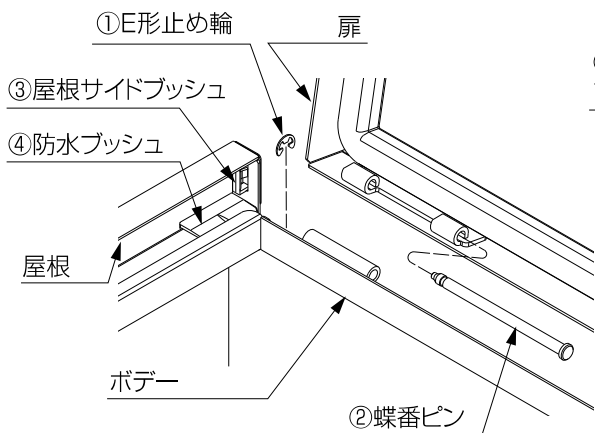
施錠は取手を閉じて付属のキーを挿し、矢印の方向に90°回してください。

■部品の取外し・取付方法

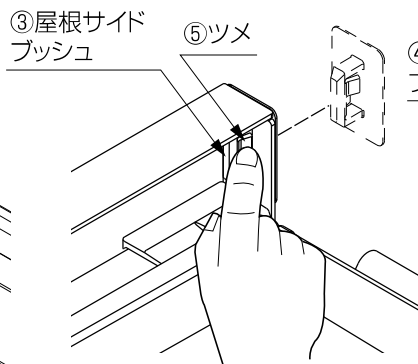
●屋根サイドブッシュ・防水ブッシュの着脱は、下記の手順で行ってください。

■屋根サイドブッシュ・防水ブッシュの取外し手順

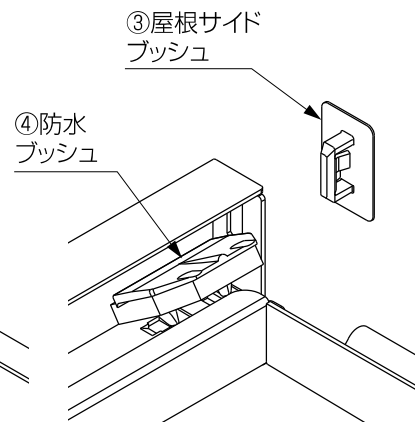
- 1) E形止め輪①を蝶番ピン②から取外し、蝶番ピン②を引抜き扉を外してください。[図2-1] (扉がついていると屋根サイドブッシュ③や防水ブッシュ④の取外しができません。)
- 2) 屋根サイドブッシュ③を取外してください。指でツメ⑤を押すと外れます。[図2-2]
- 3) 防水ブッシュ④を取外してください。[図2-3]



[図2-1]



[図2-2]

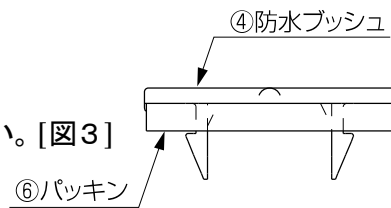


[図2-3]

■屋根サイドブッシュ・防水ブッシュの取付手順

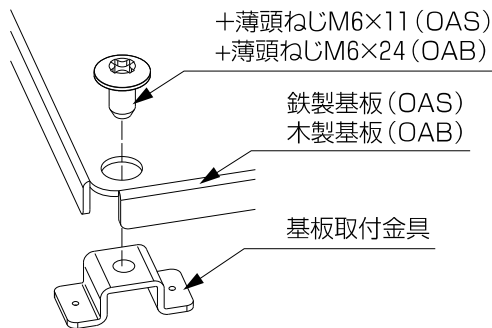
(上記の『取外し』と逆の手順で取付けてください。)

- 1) 防水ブッシュ④を取付けてください。その際、防水ブッシュ④にパッキン⑥が付いていることを確認してください。[図3] (ご注意) パッキン⑥が無いと防水・防塵性能が確保できなくなります。
- 2) 屋根サイドブッシュ③を取付けてください。
- 3) 扉を取付けてください。



[図3]

●基板を取外し、再度取付ける際は、下図のように組付けてください。



キャビネットサイズによって2箇所止めと4箇所止めがあります。

- ・製品ヨコ寸法+タテ寸法 \leq 520mm...2箇所止め
- ・製品ヨコ寸法+タテ寸法 $>$ 520mm...4箇所止め

⚠ 注意

基板を固定するねじは、下表の適正締付トルク値を守り正しく締付けてください。締付けが不十分の場合、感電・落下・破損の原因となります。また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損する恐れがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク
M6	2.9~4.4N・m(30~45kgf・cm)

仕様等、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。また、ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問合せください。この取扱説明書の内容は2011年1月現在のものです。